

2024 年 度

地 理 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～16ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 鋁工業について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

18世紀後半以降、イギリスで起こった a により、道具から機械への技術革新と、これに伴う産業・経済・社会の大変革がすすんだ。19世紀の半ばごろまでには、世界の先進地域へ波及し、大きな工業地域が誕生した。20世紀後半までは、これら先進工業国が鋁工業の生産の大半を占めてきた。しかし、1970年代からN I ^① E s ^②と呼ばれる韓国やシンガポール、中南米地域などでも工業化がすすんだ。1990年以降は、先進工業国がより安価な労働力と大きな消費市場を求めて東南アジア諸国、中国、インドなどに進出した。このうち中国は、「世界の工場」 ^③と称されるほどの飛躍的な成長を遂げている。さらに2010年頃には、豊かな資源を持ち、人口規模が大きく、経済成長が著しい5カ国がその頭文字をとって b と呼ばれるようになった。こうした工業のグローバル化や産業構造の変化をうけて、近年、先進国の工業は、従来の付加価値の低い製品の製造から、医薬品や情報通信機器、電子機器などといった、知識により利益を生み出す知識産業へと転換しつつある。

^④日本の工業では、産業用ロボットなどの先端技術を導入したり国内外に複数工場を展開する大企業と、一般的に設備や条件の面で劣るものの事業所数では圧倒的多数を占める中小企業が共存している。中小企業の大半は食品や機械の部品工場が占めており、国内で大企業の下請けをすることも多い。他方、規模的には中小企業であるものの、とくに先端技術産業分野で独創的な技術や商品に強みのある c 企業が、近年は注目されている。

〔問い〕

(1) 文中の空欄 a～c にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。なお c はカタカナ 5 文字で答えなさい。

(2) 文中の下線部①～④に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、次の表 1 は、おもな国の業種別工業出荷額を示したものである。表 1 中の あ に当てはまる国名と、B に当てはまる工業をそれぞれ答えなさい。なお、表 1 中の あ～う は、インド、韓国、シンガポールのいずれか、A～C は、繊維工業、機械工業、石油製品のいずれかである。

表 1 おもな国の業種別工業出荷額(2020年)(単位：億ドル)

	食料品	A	B	化学	金属	C	その他	計
あ	86	4	299	494	72	1,496	177	2,628
い	1,944	864	1,658	1,701	2,233	2,825	1,741	12,966
う	834	319	954	1,494	1,935	6,487	1,486	13,509
イギリス	1,015	102	664	600	709	2,607	1,156	6,853
アメリカ 合衆国	9,832	542	3,619	6,960	5,483	16,174	9,603	52,213
ブラジル	1,468	193	587	928	634	1,350	889	6,049

『世界国勢図会 2022/23』より作成。

2. 下線部②について、アジア N I E s に該当する国・地域が経験した急速な工業化に共通する過程について、次の語群の用語を全て用いて 60 字程度で説明しなさい。

【語群】

優遇措置 代替 輸出

3. 下線部③について、以下の問いに答えなさい。

1) 現在の中国の経済活動について述べた文として適切でないものを、次の選択肢 あ～え の中から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

- あ 東北部や内陸の工業都市のほか、沿岸部に経済特区や経済技術開発区を設置して、積極的に外資資本を導入している。
- い 東部沿海は、中国工業を主導する地位で、工業生産額は全体の半数以上を占めている。
- う シーアン(西安)やウーハン(武漢)などの中部は、鉄鉱石などの地下資源が多く、鉄鋼業が盛んである。
- え 西部は東部よりも先立って工業化がすすめられた地域であり、内陸立地型工業の中心的な役割を担っている。

2) 次の図1は、中国とドイツ、日本、アメリカのある工業製品の貿易のおもな流れを示したものである。この工業製品に当てはまるものを、下の選択肢 A～D の中から一つ選び記号で答えなさい。

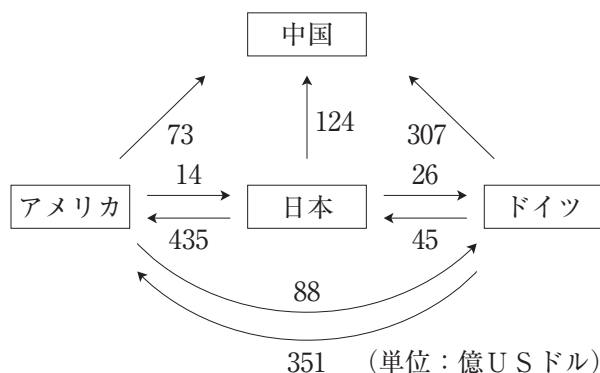


図1 中国、ドイツ、日本、アメリカのある工業製品の貿易のおもな流れ(2022年)
UN Comtrade Databaseより作成。

【選択肢】

- A 産業用ロボット
- B 携帯電話
- C カラーテレビ
- D 自動車

3) 中国が提唱している「シルクロード経済ベルト」と「21世紀海上シルクロード」の総称をなんというか、漢字4字で答えなさい。

4. 下線部④について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

日本政府は、明治期に繊維・鉄鋼・造船などの官営工場を設立し、経営が軌道に乗った後、民間に払い下げた。大正期になると、重化学工業^(a)が発展し、1930年代後半に軽工業を上回った。第二次世界大戦を経て、1950年代後半になると、技術導入と大規模な設備投資などにより生産を拡大した。さらに、中小企業^(b)を含む裾野産業が発達する形で工業の高度化が進んだ。

1) 文中(a)について、日本の重化学工業が臨海部を中心に発展した理由を、立地と原材料に言及しながら60字程度で説明しなさい。

2) 文中(b)について、次の図2は、日本の工業分類とその立地を示したものである。集積指向型工業に当てはまるものはどれか、図2中のA～Dの中から適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

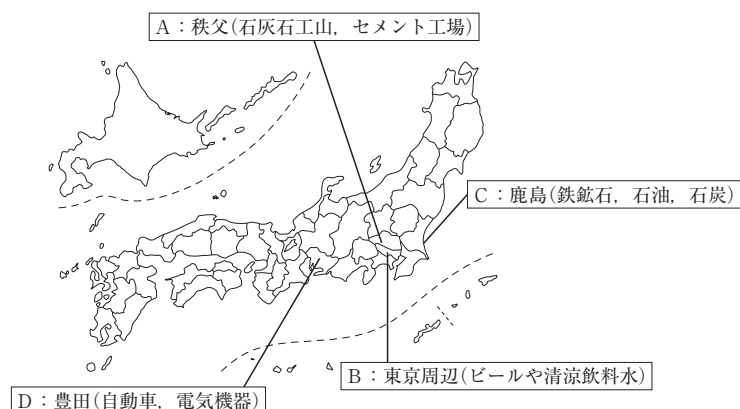


図2 おもな日本の工業分類とその立地

『地理の研究』より作成。

3) 次の表3は、おもな国・地域の主要電子機器の生産台数を示したものである。表3中の X～Z のうち日本に該当するものを一つ選び、記号で答えなさい。なお、表3中の X～Z は、韓国、北アメリカ、日本のいずれかである。

表3 おもな国の主要電子機器の生産台数(2015年)

	薄型テレビ		カーナビゲーションシステム		デジタルカメラ	
	千台	%	千台	%	千台	%
X	26,747	11.8	640	5.3	0	0
Y	3,434	1.5	400	3.3	200	0.5
Z	1,140	0.5	4,120	34.2	5,220	13.5
中国	105,129	46.3	2,160	17.9	20,540	53.2

表中の%は世界の総生産台数に占める割合。

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

Ⅱ アフリカについて述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。なお、文中の同一記号は同一内容を示している。

2000年代以降のアフリカ地域の経済成長は著しい。多くの国々の都市部では高層ビルやショッピングセンターの建設が相次ぎ、自動車や家電などの耐久消費財の需要ものびている。農村部でも携帯電話の利用が急速に普及している。内戦や紛争などのリスクはあるものの、その成長や人口規模から消費市場のさらなる拡大が見込まれており、近年では中国や欧米等の諸外国が積極的にアフリカにおけるビジネスを展開している。^①

成長の著しい国々のなかには、 や深刻な紛争を経験したルワンダ^②も含まれる。ルワンダでは、少数派のツチ人と多数派のフツ人との共存関係がみられたものの、第一次世界大戦後に の支配下に入るとツチ人がフツ人を支配する社会階層が強化され、対立が深まり、200万人以上が難民となる紛争に発展した。だが、その後、治安の維持と雇用の創出に重点がおかれ、ソフトウェア開発などのICT産業にも力が注がれた結果、今では高い経済成長率を実現し、「アフリカの奇跡」と呼ばれている。^③

アフリカにおける第二の人口大国である では、道路や都市鉄道、電気通信網などのインフラ整備が急速に進んだ。農業を核として経済成長を図りつつ、製造業にも重点を置いた経済構造への転換を目指している。同国が原産地といわれるコーヒーは、今日もこの国の重要な輸出品となっている。

北アフリカ地域は、エネルギー資源に恵まれ、軽工業が発達するとともに、地中海^④の温暖な気候を求めて訪れる観光客も多い。地中海をはさんでとなり合っているヨーロッパとの結びつきは強く、貿易も活発である。アルジェリアは、アフリカ屈指の生産量を誇る石油のほかに の埋蔵量も多く、地中海横断パイプラインを利用してヨーロッパ諸国に送られる。チュニジアやモロッコでは、フランスやイタリアから企業が進出し、安価な労働力^⑤を活かして 型の工業である服飾産業が拡大している。

〔問い〕

(1) 文中の空欄について以下の問いに答えなさい。

1) 文中の空欄 a～c にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。なお、aとbは国名である。

2) 空欄Xに当てはまる語句を、次の選択肢 ア～カ の中から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

ア 電力指向	イ 知識集約	ウ 資本集約
エ 資源多消費	オ 交通指向	カ 労働集約

(2) 文中の下線部①～⑤に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について述べた文として適切でないものを、次の選択肢 あ～え の中から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

- あ 中国は、銅の輸出のために内陸国のザンビアとタンザニアを結ぶタンザン鉄道の建設支援などで築いた友好関係を、近年さらに深めている。
- い 中国との貿易が進む一方で、安価な中国の輸入品が増えてアフリカ現地国の地域産業が衰退することなどが懸念されている。
- う アフリカへの日系企業の進出は、自動車製造や鉱山開発など、製造業や資源関連産業が中心であったが、2000年代以降、化粧品や家電製品、食料品の分野でも増えてきている。
- え ナイジェリアは豊富な資源によってアフリカ最大級の工業国となり、OECD諸国の一員に迎えられた。鉄鋼・機械工業・自動車工業などで、欧米企業との連携、協調が盛んである。

2. 下線部②について，次の図1はアフリカ中部の一部を示した地図であり，図中のA～Cは，アンゴラ，ルワンダ，コンゴ民主共和国(以下，コンゴ民とする)のいずれかである。また，図2はそれぞれの国の主要輸出品5品目を示したものである。AとCに該当する組み合わせとして正しいものを次の選択肢あ～かの中から一つ選び記号で答えなさい。

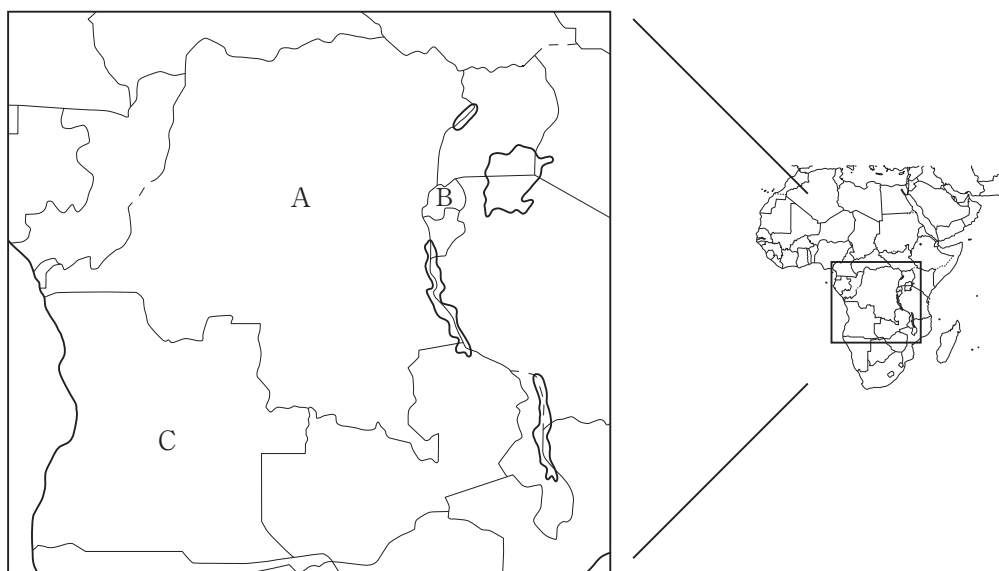


図1 アフリカ中部の地図

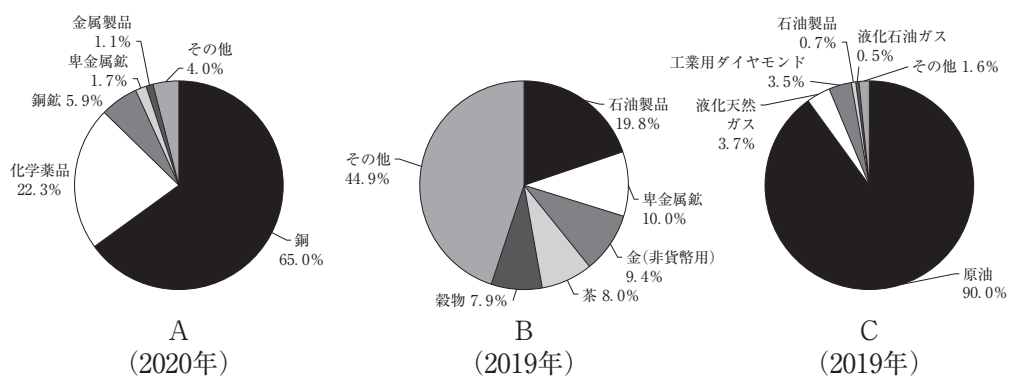


図2 A, B, Cの輸出上位5品目

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

【選択肢】

	あ	い	う	え	お	か
A	アンゴラ	アンゴラ	コンゴ民	コンゴ民	ルワンダ	ルワンダ
C	ルワンダ	コンゴ民	アンゴラ	ルワンダ	アンゴラ	コンゴ民

3. 下線部③について、ルワンダのICT産業が活発になっている理由としてあげられることを次の語群の用語を全て用いて、60字程度で答えなさい。

【語群】

難民 教育

4. 下線部④について以下の問いに答えなさい。

- 1) 次の図3中のA～Dは、アフリカのいくつかの都市の位置を示したものであり、次の図4中のあ～えは、都市A～Dのいずれかの雨温図である。都市AとDに該当するものを、図4中のあ～えの中から一つ選びそれぞれ選びなさい。

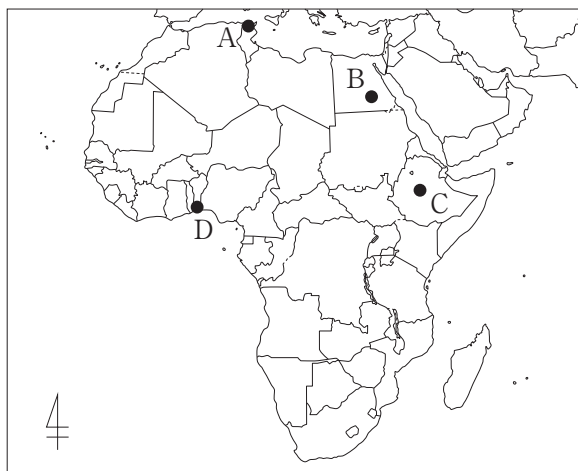


図3 アフリカ大陸の地図

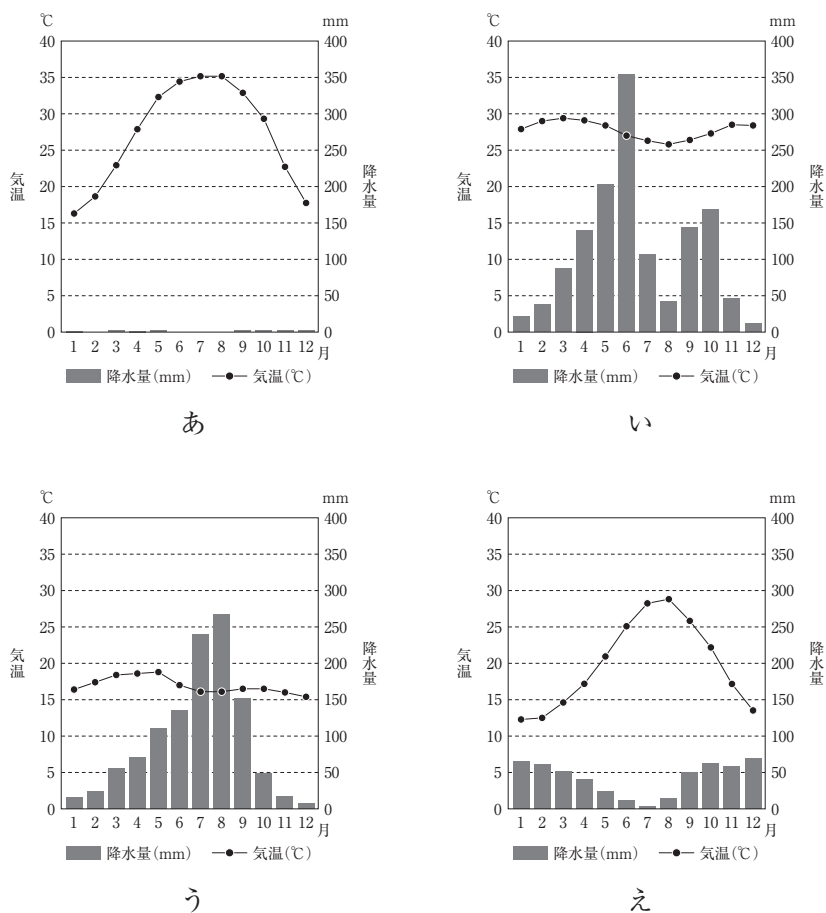


図4 アフリカの都市の雨温図

『気象庁 世界の地点別平年値』より作成。

2) 北アフリカの砂漠地帯などにみられるワジとはなにか。どのように利用されるかに言及しながら40字程度で説明しなさい。

5. 下線部⑤について、2010年にチュニジアでおきた民主化要求の運動に端を発して、エジプト・リビアなど、北アフリカ・西アジアで民主化要求運動が拡大した。これを総じて何というか、5文字で答えなさい。

- (3) 次の写真は、南アフリカの都市ケープタウンで撮影されたものである。写真の示す地形の説明として適切なものを、次の選択肢 あ～えの中から一つ選び記号で答えなさい。



写真 ケープタウン

【選択肢】

- あ ケープタウンを見下ろすようにそびえるテーブルマウンテンは、隆起した地層が長期にわたって侵食を受けてできたカルデラに、硬い部分が残ることによって形成された。
- い ケープタウンに位置するテーブルマウンテンは、風雨の影響で軟らかい地層が侵食され、先カンブリア時代の硬い岩盤層が溶食によって凹状に取り残されたことで形成された。
- う ケープタウンのテーブルマウンテンは、水平な硬い岩層が侵食に抗してつくった平坦な頂面と、周囲に急斜面をもつテーブル状の地形によって形成されたメサの一部である。
- え ケープタウンには、テーブルマウンテンとよばれる石灰岩の溶食によってつくられた漏斗状の地形があり、平らな頂上と垂直に切り立った崖からなる卓状の山容は国のシンボルともなっている。

Ⅲ 交通について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

人の移動や物資の運搬は、技術革新によって、その選択肢が拡大してきた。徒歩から馬車、船舶、鉄道、自動車、航空機^①と、それぞれに長所と短所があるため、用途によって使い分けが行われている。^②^③

とはいえ、それぞれの交通手段もさらなる技術革新によって特性が変化する場合もある。たとえば、電気自動車がその典型である。

また、社会情勢の変化によって自動車輸送を鉄道や船舶に転換させる動きが起きたり、日本ではかつて多くが廃止された路面電車の価値が見直されたりもしている。^④なお、次世代型の路面電車を a とも呼ぶ。

〔問い〕

- (1) 文中の空欄 a にあてはまる語句を、次の選択肢 ア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

ア A G T

イ H S S T

ウ L R T

エ M a a S

- (2) 文中の下線部①～④に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、選択肢の拡大によって、旧来利用されていた交通手段や関連施設が別の手段や施設に置き換わったり、利用されなくなったりすることもある。それを説明した文として適切でないものを、次の選択肢 ア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

- ア 世界では、1960年代以降に進んだコンテナ革命によって、荷造りの手間とその積み下ろしが簡素化されたため、それ以前より港湾規模が縮小されて広大な遊休地が生まれ、ウォーターフロントとして再開発されるようになった。
- イ 世界の先進国では、需要の低迷や技術の進展によって可能になった操車設備の簡素化によって利用されなくなった都心部の広大な鉄道施設が、大規模再開発用地として利用される例がしばしばみられる。
- ウ 東京では、かつて都市内交通手段として水路が活発に利用されていたが、モータリゼーションの進展と共に、少なくないそれらの跡地が高速道路の敷設場所として再活用された。
- エ 特に20世紀末以降のアジア諸国では、航空機の大型化や航空輸送量の拡大に伴って、都心近くに存在していた空港が手狭になり、郊外部に巨大空港を整備する動きが活発化した。

2. 下線部②について、以下の問いに答えなさい。

- 1) 航空機が特に優れている点として、他の交通手段と比べると2地点間をほぼ最短距離で移動できる点がある。地表における2地点間の最短経路を何というか答えなさい。

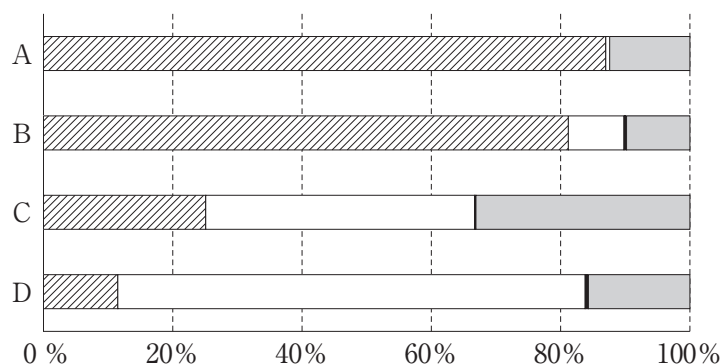
2) 次の表1は日本の主な国内航空路線の旅客輸送量を示したものであり、表1中のA～Dは、札幌(新千歳空港)、関西圏(大阪空港・関西空港・神戸空港の合計値)、福岡(福岡空港)、那覇(那覇空港)のいずれかである。なお、東京圏は羽田空港と成田空港の合計値である。福岡に該当するものを、表1中の記号A～Dの中から一つ選び記号で答えなさい。

表1 日本の主な国内航空路線の旅客輸送量(2019年)

地域間	万人
東京圏⇔A	1,133
東京圏⇔B	1,002
東京圏⇔C	907
東京圏⇔D	679
C⇔A	293
C⇔D	277
B⇔D	192
C⇔B	109
A⇔B	66
A⇔D	10

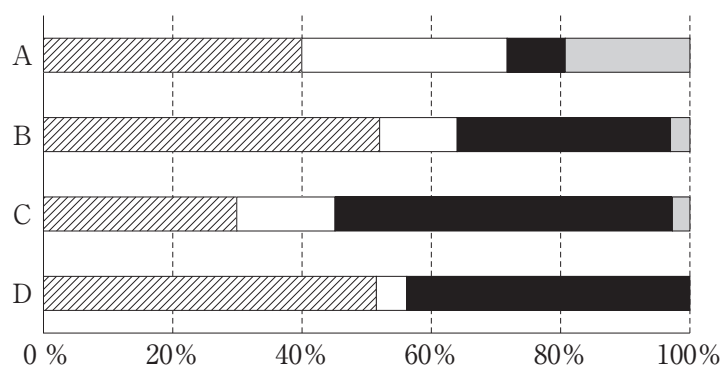
『航空輸送統計調査』より作成。

3. 下線部③について，次の図1はいくつかの国・地域内における輸送機関別旅客輸送と貨物輸送割合を示したものであり，図1中のA～Dは，アメリカ合衆国，E U 27か国，中国，日本のいずれかである。E U 27か国に該当するものを，図1中の記号A～Dの中から一つ選び記号で答えなさい。



旅客輸送

割合は人kmに基づく



貨物輸送

割合はトンkmに基づく

図1 いくつかの国・地域内の輸送機関別旅客輸送と貨物輸送割合(2019年)
『EU transport in figures』より作成。

4. 下線部④について、このような動きがみられるようになった理由を、次の語群の用語を全て用いて80字程度で説明しなさい。

【語群】

温室効果ガス 環境負荷